

障連協にゅーす

第 28 号

発行日 2013年1月25日
 編集 NPO法人
 旭川障害者連絡協議会
 発行者 高津 修
 住所 旭川市宮前通東4155番地30
 旭川市障害者福祉センター
 「おびった」3F
 電話 0166-31-2226

■障連協にゅーす 28号目次

1 年頭の挨拶、障害者週間記念事業

2 ドンマイの会、地域づくりフォーラム、編集後記

年頭の挨拶

新年を迎え、明けましておめでとうございます。

皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り致します。

昨年は、旭川障害者連絡協議会【略称：障連協】に多大なるご理解とご協力を賜りまして誠に有り難うございます。心からお礼申し上げます。

昨年より旭川市障害者福祉センター「おびった」の運営に3期目の指定管理者となりました。また、「おびった」設立10周年を迎え、多くのご来賓、一般の方や障害者団体の方々にご出席をいただき、7月に記念式典を行いました。

管理職員の永年勤続者の表彰と西川旭川市長より、おびったを清掃している障害者の方一人一人に謝礼状を手渡されました。旭川市よりの委託事業として、障害者スポーツ大会、スポーツ教室等にご参加下さいまして有り難うございます。

8月には障連協主催の第8回おびったまつりも天候に恵まれましたが、札幌で野菜の漬物による食中毒事故が発生し、心配しておりましたが、例年通りのお客様が参加されて良かったなど安堵いたしました。

また、特別支援学校を旭川市に誘致する活動協力をしていただきましたことについては、平成28年度に計画案が出たようであります。

10月には北海道でも「障害者虐待防止条例」が採択されましたが、11月初旬に札幌市月寒で、夫74歳が72歳の婦人の（脳梗塞患者）介護疲れもあってか暴力により死亡させた不幸な事件がありました。他に支援や相談など手を尽くすことが出来なかったのでしょうかと思うと非常に残念に思います。

一昨年11月の新聞記事で、4月～9月まで6ヶ月間に、全国の公立小学校・中学校・高校における「いじめ」の発生件数が、14万4054件もあり、北海道では3478件あったとの報道がありました。全国の前年同期による比較で2倍の発生件数になったとのこと、人は個々に自由に生きる権利があり、人は何人にも【妨害・いじめ】をする権利はありません。命の尊さ、大切さを認識すべき教育・指導に徹していくべきであると思います。

今年度も皆様には安心して安全な場所であります「おびった」のご利用を心からお願い申し上げまして、年頭の挨拶とします。

旭川障害者連絡協議会 理事長 高津 修



障害者週間記念事業

平成24年12月9日（日）前日からの落ち着いた天候から一転し今年も大雪の中、旭川市障害者週間記念事業が開催されました。旭川大学・旭川女子短期大学部 手話サークル「ド・レペ」による、手話合唱と澄んだ音色のハンドベル演奏で幕開けされました。

主催者による西川市長、高津理事長の挨拶の後、来賓者からは三井市議会議長、旭川市社会福祉協議会 佐藤常務理事より挨拶を頂きました。その挨拶の中にはこの事業の目的である「一般健常者の方々に障害者を理解してもらおう」という目的があるが、国で定めた12月3日から12月9日の

障害者週間の存在すら認識が薄いという厳しい言葉も頂きました。

また、記念講演では在日フィンランド大使館 領事であるミンナ・コッコネン氏より講演を頂き、フィンランドの福祉を会場からの質問を含め日本との違いを学ぶことが出来ました。アトラクションでは旭川千翔太鼓の重量感ある演奏、旭川啓北中学校ボランティア部の愛嬌あるジャグリング、旭川北の大地の華麗なYOSAKOI演舞、愛別から伝統ある蝦夷ひょっとこ踊りなどが披露されました。

会場奥には旭川市内の福祉施設・福祉事業所・障害者団体15カ所



